

学校教育だより

自己研鑽の夏!

習志野市教育委員会発行



<http://www.city.narashino.lg.jp/kosodate/kyoiku/gakkyodayori.html>

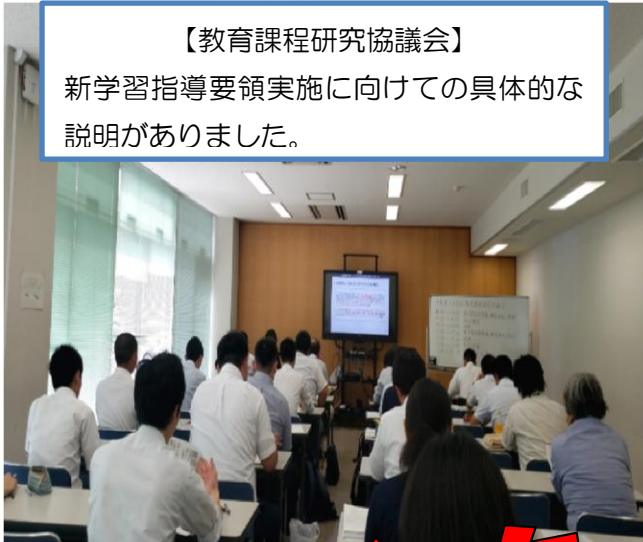
習志野市鷺沼 2-1-1

電話 047-451-1151 (代表)

令和元年 8月 23日発行 NO. 108

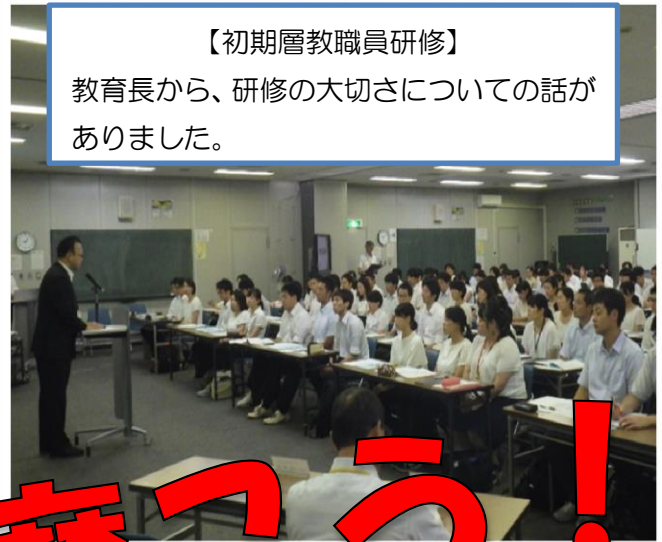
【教育課程研究協議会】

新学習指導要領実施に向けての具体的な説明がありました。



【初期層教職員研修】

教育長から、研修の大切さについての話がありました。



自分を磨こう!

【初期層・ミドルリーダー合同研修】

働き方改革について、グループ討議をし、発表しました。



【こども健康大学】

オービックシーガールズのコーチとともに、ラダートレーニング等を行いました。



108号 目次

- ◆初期層教職員研修、学校運営ミドルリーダー研修 2
- ◆「平和祈念式典」「こども健康大学」 3
- ◆習高生の活躍、教育長コラム 4

教師としてのステップアップ 初期層教職員研修

7月24日(水)

習志野市総合教育センター 大研修室

市内の2年目から5年目までの教職員が一堂に会し、初期層教職員研修開講式が開催されました。開講式後には蓮一臣指導課長からは「習志野の教育」について、笹生康世総合教育センター所長からは「板書」についてそれぞれ演習がありました。



蓮一臣指導課長より
「習志野の教育」

- 良い教師となるために高めたい力
= 「声（トーン）」、「顔（表情）」、「体（身振り・手振り）」などの表現力
= 授業力（児童生徒の意表をつく導入、発問の工夫、学びたいと思わせる工夫）
- 「自分らしさ」で勝負できる学級経営、教科指導、部活動指導を。
- 「段取りが8割、本番2割」、つまり教材研究（教材、教具の準備等）を「やるだけのことはやった」と思えるくらい行うことが大事。
- 授業の合間に、先輩の授業を見て、聞いてほしい。空き時間が減ることにはなるが、苦労は財産である。そういう苦労を重ね、自分のスタイルが生まれる。



丁寧な字、正しい筆順を意識してミニ黒板にチョークで字を書く演習の様子

- 【良い板書の条件】
- ① 学習のめあてがある
- ② 授業の流れがわかる
- ③ 子供の発言がある
- ④ 丁寧な文字で書かれている

- 板書計画をきちんと立て、意図的に板書を作る。「板書は先生のノートである。」
- 各学校の板書の上手な先生の板書から学ぶ。

良い授業は良い板書を残す
良い板書はよいノート作りにつながる



笹生康世所長より
「板書について」

受講生謝辞より・・・

○蓮指導課長の演習で教わった「良い教師の25か条」は普段自分が子供たちに求めることと同じであった。子供たちに求めるだけでなく、自分たちが良い手本となるように研鑽を積むことが大切だと学びました。
○笹生所長の演習では、板書で子供たちに考えさせる授業ができるようになることが大切だと感じました。板書計画をきちんと立てて、良い板書から良い授業を作れるようになりたいと思いました。ミニ黒板を使った演習では自分の字と仲間の字をお互いに見合うよい機会になりました。上手い下手ではなく、丁寧な字で書くことをこれから心がけたいです。

学校の組織力向上を目指して 学校運営ミドルリーダー研修

7月26日(金) 津田沼小学校会場

－初期層教員（4，5年目）との合同研修－

ミドルリーダー研修では、葛南教育事務所戸丸管理主事御指導の下、ミドルリーダーが小グループのリーダーとなり、初期層教員（4，5年目）と一緒に「教職員の服務」と「働き方改革」についてグループで討議し、それぞれのグループが考える「働き方改革」について発表しました。



「教職員としての情熱・誇り・使命を胸に」 葛南教育事務所 戸丸量博管理主事より不祥事ゼロに向けて、①切実感と当事者意識を持つこと②連帯感の2つが大切である。校内研修を充実させること、またお互いに声をかけやすい、風通しのよい職場の雰囲気づくりが大切である。

グループ討議の様子



『ブレイン・ライティング法』で自分の考えを書き、グループでその考えを広げ、アイデアを出し合いました。

アイデアを模造紙にKJ法でまとめていきます。「時間の有効活用」や「行事の見直し」などカテゴリーごとにまとめ、見やすくレイアウトしました。



それぞれのグループで作成した模造紙を使って、グループごとに発表をしました。ミドルリーダー、初期層らしいアイデア満載の発表でした。

受講生より・・・

・服務に関して、ネガティブになりがちな内容をポジティブに教えてください、とてもよく理解できました。
・働き方改革についてはミドルリーダーの先輩たちと一緒に学び合うことで、経験の違いから新たな視点をもつことができました。

—平和への願いを込めて—

平和祈念式典

8月6日(火)・9日(金) 平和の広場にて

秋津公園内にある平和の広場にて、74年前の広島・長崎の惨事を次代に伝え、世界の恒久平和を願うため、原爆死没者慰霊および平和祈念式典が行われました。

【平和市民代表団OBによる平和のスピーチ・詩の朗読】

6日には、平成30年度に平和市民代表団として広島を訪れた陳さんから「平和のスピーチ」、小久保さんから「平和の詩の朗読」がありました。9日には、平成29年度に長崎を訪れた近さんから「平和のスピーチ」がありました。

陳さんは「あの辛く無慈悲な出来ごとの延長線上にいる僕たちが歴史を背負い、次代を担う責任を持たなくてはならない。」と訴え、小久保さんは「私たちは学ばなければいけない。過去のあやまちから悲劇を繰り返さないことを。」「引き継がなければいけない。未来の子達へ、平和というものがいかに尊いものかということ。」「という詩を朗読しました。近さんは「私たちが学び、広めていくことが大切です。このスピーチを平和について考えるきっかけにしてほしい」と訴えました。



花輪献納・献水



献花の様子



平和のスピーチ



七中合唱部による「ひろしま平和の歌」

健康について再度考えよう!

こども健康大学



7月25日(木) 東部体育館にて、こども健康大学が開催されました。「健康って何だろう?」「健康のために何をすればいいの?」「体を動かすのが苦手なんだけど…」小学生4~6年生約50名を対象に健康支援課とオービックスーガーズの皆さんの協力の下、健康づくりの知識を楽しく学ぶ機会となりました。

最初の栄養教室では、5人グループになり、夜ごはんの献立を自分たちで考えるというものでした。1人1品ずつ料理カードを選び、バランスの良い食事となっているか話し合い、再度献立を練り直すという取組でした。最後に発表会を行い、なぜこの献立にしたのか理由をつけて説明していました。

次に、オービックスーガーズ式トレーニングを行いました。「最後まであきらめないこと」「話を聞くときはしっかりと最後まで聞くこと」の注意事項を守り、円の周りを素早く走るリレーやバーをくぐったり跳んだりする折り返しリレーをしました。注意事項をしっかりと決め、簡単な動きから複雑な動きへと段階を踏み、できたらしっかりとほめるというやり方は、体育の指導にも活かせる内容です。



栄養バランスについて考えを出し合う様子



円の周りを素早く走ろう

感動をありがとう！習志野高校野球部！

第101回全国高等学校野球選手権大会出場！

第101回全国高等学校野球選手権千葉県予選会で習志野高校野球部が八千代松陰高校を8対1で破り8年ぶり9回目の甲子園出場を果たしました！

下の写真は、千葉県予選決勝戦後の習志野高校体育館での結果報告会と習志野市役所への表敬訪問の様子です。甲子園では2回戦まで駒を進めました。詳細については、次号でお知らせします。

千葉県予選結果

試合	対戦相手	結果
2回戦	安房高校	7-0
3回戦	津田沼高校	8-3
4回戦	県立船橋高校	6-1
5回戦	千葉商科大付属高校	5-2
準々決勝	成田高校	3-2
準決勝	木更津総合高校	6-5
決勝	八千代松陰高校	8-1

【8年ぶり 9回目の出場】



吹奏楽部の演奏で入場



教育長から激励の言葉



市長へ表敬訪問



竹縄主将 「春の忘れ物を取りに行く」と力強い言葉



～好きですふるさと習志野～ 教育長コラム

「こんまり」こと近藤麻理恵さんをご存知でしょうか。日本出身、米国カリフォルニア州ロサンゼルス在住の「片づけコンサルタント」であり、雑誌『TIME』の「世界で最も影響力のある100人」に選ばれた全米で注目の人物です。カリフォルニア州では、大リーガーの大谷選手と並んで表彰された方もあります。なぜ米国で「片づけ」「整理術」に関心が集まるのか？それは、米国では整理する（片づける）という習慣があまりなく、学校では時間を決めて子供たちが掃除をすることがないからだそうです。これは文化の違い、日本との違いなのでしょう。日米を問わず、「片づけ」に関心のあることも事実です。日本の学校教育では掃除の時間があることが当たり前です。本市の学校教育においても、幼稚園から小・中学校、高校まで日課として取り組んでいます。「掃除がしっかりとできること」を良き伝統にしている学校もあります。まさに、生活の中で学ぶことによって生きる力が育まれている良い例ではないでしょうか。昨今は様々な事情から、掃除の時間を短縮したり、省略したりすることもあるようです。学校教育においては、やらなければいけないことも多く、忙しい毎日ではありますが、「時を守り、場を清め、礼を正す」という言葉があるように、変わらない、変えてはいけないこともあるはずですよ。

